



11月の全校朝会！



11月7日(月)に全校朝会を行いました。全校朝会では、校長先生のお話と保健委員会からのお知らせがありました。保健委員会は、学校だけがをしないためにどのようなことに気を付けたらよ



いかビデオを作って全校のみんなに分かりやすく知らせました。校長先生からは次のようなお話がありました。みんなで過ごしていく中でとても大切なお話を子どもたちは一生懸命聞いていました。

皆さん、お早うございます。今日、11月7日は暦の上では、冬の始まりを告げる立冬です。寒くなってきました。早い者で、今年もあと2ヶ月です。

さて、今日は、江戸時代に生きた、二宮金次郎、後に二宮尊徳と呼ばれた人が、お風呂で村人たちに語ったと言われるお話をします。

(電子黒板に漫画を映しながら)

村人：二宮様、湯加減はいかがですか。

金次郎：いやあ、いい湯だ。

<あるとき、金次郎は丸い桶の風呂に入りながら村人に教えた>

金次郎：いいかい。自分の利益ばかり考えている者は、風呂のお湯をしきりと手前の自分の方へかき寄せているのと同じだ。一時は、自分の方へお湯がやってくるが、すぐに脇をすり抜けて向こう側へ流れていってしまう。結局は、自分も恵まれることがない。これと反対に、常に相手のために思い、自分の持っているものを与えようとする人は、お湯を向こう側へ押しやるのと同じだ。そのお湯は、向こうへ行くように見えるが、実際には、ぐるっと回って自分の方へ返ってくる。相手も喜び、自分も恵まれることになるのだ。

村人：へえー

<金次郎が一貫して村人に訴え続けたのは、利他の心だった>

このお話は、人に思いやりや親切、つまり施しをもって接することの大切さを教える二宮金次郎の「風呂の湯の哲学」と言われています。

私たちの心には「自分だけがよければいい」と考える利己の心と、「自分のことよりも他の人のために尽くす」利他の心があります。利己の心で判断し、行動すると、自分のことしか考えていないので、誰の協力も得られません。自分しか見えなくなり、間違った行動をしてしまいます。一方、利他の心で判断し、行動すると、「人によかれ」という心ですから、多くの人が協力してくれます。そして、視野も広くなり、正しい判断、行動ができるようになります。

よりよく生きていくためには、自分だけのことを考えて行動するのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりで満ちた利他の心をもって行動するとよいと思います。

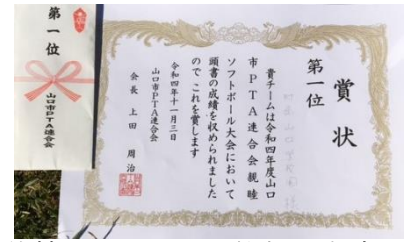
インドの偉いお坊さんも、このように言っています。「他を利するは、すなわち、これ自らを利するなり」と。意味は、「他人の利益になるよう心がけるということは、結局は、自分の利益になります」ということです。

わたくしたち日本人は、惻隱の情と言って、「弱い人への気遣いや思いやり」の心をもっていません。わたくしたちは、隣の人が困っていたら、そっと優しく手を差し伸べます。そして、隣の人に笑顔が戻ると、自分も嬉しくなります。そんな日々が過ごせるといいですね。



市P連ソフトボール大会

11月3日(木)に山口市P連ソフトボール大会が3年ぶりに開催されました。附属は小学校・中学校合同チームで出場し、大内南小、白石小と戦い、2連勝で優勝となりました。天気がよく、参加したみなさん全てが笑顔で楽しくプレーすることができました。他校のPTAとも笑顔で交流できて、こうした機会をもてたことがもっとも嬉しいことでした。



中附P連山口大会

11月4日(金)に中国地区国立大学附属学校PTA連合会総会及びPTA実践活動協議会山口大会を附属山口中学校が中心となって行いました。記念講演では、萩市の老舗の蔵元「澄川酒造場」4代目の蔵元杜氏、澄川宣史氏のお話を聞きました。2013年7月の集中豪雨からいかに復興を遂げたかなど詳しくお話しいただきました。



校種別分科会の小学校部会では、リモートで鳥取大学附属小学校が取組を発表され、重見会長の司会のもとしっかりと協議しました。また、コロナ禍でのPTA活動について他附属とも情報交換をしながら今後の活動についても話し合いました。コロナ禍での開催で参集とリモートとあわせたハイブリッドでの開催でしたが、有意義な会となりました。来年度は、島根大学引き受けの開催で、小学校部会では、附属山口小学校が発表校となります。



文化芸術活動鑑賞

11月4日(金)の5、6校時、文化芸術鑑賞に、5、6年児童と希望された保護者の方々が参加しました。この活動は、学校運営協議会の熟議で話し合われた地域との関わりの一組の一つとして、PTA文化部の事業とあわせて行ったものです。演奏だけでなく打ち合わせ等の様子も見学となりましたが、貴重な機会となりました。



児童の感想から

- ・西洋楽器は、音がきれいに響いて、和楽器は迫力があり、その両方があわさり、とてもきれいな音色でした。
- ・太鼓はリズムがとりにくいと思うのにリズムがとれていてとても良かった。
- ・太鼓と西洋楽器が組み合わさった音楽と聞いた時、どんな感じかな?と思ったけど音楽を聞いているときれいな音がでていたのですごいなと思いました。
- ・バイオリンと太鼓がけっこうマッチしていました。太鼓をたたく音が響いてよかったです。
- ・手で太鼓をたたいていたのでそこがおもしろかった。太鼓のたたく場所で音が変わることをはじめて知った。
- ・太鼓のかけ声が一体感があってとてもかっこよかったです。組み合わせが不思議だったのですが、聞いてみるとすごく楽しく、感動しました。

5年生学年活動「木工フォトフレームづくり」



11月7日(月)の5、6校時に体育館で5年生の学年活動行いました。本校元校長で山口大学の岡村吉永教授を講師に迎え、木工フォトフレームづくりをしました。田布施総合支援学校の生徒さんが田布施の木を使ってつくったキットを材料に、工夫して飾り付けをしました。子供たちそれぞれの思いのこもった作品ができました。

